

**第1回 あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会
議 事 要 旨 (要約版)**

1 開催日時

令和元年5月31日(金) 午後7時00分～午後8時38分

2 開催場所

市役所5階 505会議室

3 出欠席

出欠	氏名	所属
出席	鈴木 裕介	明星大学 人文学部福祉実践学科
出席	森川 秀臣	市民の代表
出席	鳥海 弘子	市民の代表
出席	◎ 下村 智	あきる野市医師会
出席	大塚 秀男	秋川歯科医師会
出席	○ 倉田 克治	あきる野市社会福祉協議会
出席	溝口 正恵	あきる野市民生児童委員協議会
出席	伊東 満子	あきる野市健康づくり市民推進委員会
出席	伊藤 元聡	あきる野市民間保育園園長会
出席	河井 章子	あきる野市障がい者団体連絡協議会
出席	今 裕司	あきる野市介護事業者連絡協議会
出席	太田 勝久	あきる野市高齢者クラブ連合会
出席	永田 弘行	青梅公共職業安定所
出席	小林 啓子	東京都西多摩保健所

◎:委員長 ○:副委員長

澤井あきる野市長 (途中退席)

事務局:川久保健福祉部長、細谷生活福祉課長、田中生活福祉課庶務計画係長、
庶務計画係木崎、庶務計画係中山

コモン:相澤、尾崎、高橋

4 内容

- (1) 開会
- (2) 委嘱書交付
- (3) 挨拶
- (4) 委員自己紹介
- (5) 委員長、副委員長選出
- (6) 報告事項
 - ①地域保健福祉計画策定・推進委員会について
 - ②アンケート調査について

③現計画の実施状況について

ア 現計画の実施状況、修正および新たな事業の実施について

(7) 協議事項

①地域保健福祉計画策定に当たって

ア 計画策定のスケジュール（案）について

イ 計画の構成（案）について

(8) その他

(9) 閉会

【資料】

○資料1 あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会設置要綱

○資料2 あきる野市地域保健福祉計画策定のためのアンケート調査

○資料3 現計画の実施状況について

～令和2年度から5年間の地域保健福祉計画策定に向けて～

○資料4 地域保健福祉計画策定 作業スケジュール（案）

○資料5 あきる野市地域保健福祉計画の構成（案）

○資料6 計画に盛り込むべき事項（計画策定ガイドラインより）

○参考 計画策定ガイドライン（要約）

5 議事録（発言の主な内容）

(1) 開会 生活福祉課長

(2) 委嘱書交付 市長

(3) 挨拶 市長

生活福祉課長 それでは、澤井敏和あきる野市長よりご挨拶をお願いします。

市長 改めまして、皆様こんばんは。貴重なお時間を割いて、本日はあきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会に出席いただきありがとうございます。また、あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会の委員を快くお引き受けいただき、本当にありがとうございます。皆様もご存知のように、近年、生活様式の多様化、地域では自殺、いじめ、子育ての不安、高齢者を含めた閉じこもりなどの問題を抱えています。市長としても、社会が非常に大きく変わってきたと感じています。このような中、今年度1年をかけて、令和2年から6年までのあきる野市地域保健福祉計画を策定することとなりました。委員の皆様には、様々な角度からお話を伺っていくとともに、専門的な見識やお力添えをいただきますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(4) 委員自己紹介

— 市長退席

(5) 委員長、副委員長選出

生活福祉課長 続きまして、委員長、副委員長の選出です。あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会の設置要綱7条第1項で、本委員会に委員長1人、副委員長1人を

置くこと、同条第 2 項で“役員は、委員の中から互選する”ことになっていま
す。委員長、副委員長の選出にあたり、何かご意見はありますか。

(委員互選により、委員長を下村委員、副委員長を倉田委員に決定)

生活福祉課長 それでは委員長、副委員長から就任のご挨拶をお願いします。

委員長 地域保健福祉計画は、今後 5 年間、あきる野市のおおもとになる計画です。計
画に反映できるよう、色々なご意見を是非活発に発言していただきますよう、よ
ろしくお願いします。

副委員長 社会福祉協議会は、地域福祉ということで、市の地域保健福祉計画と一致してい
るところがあります。勉強させていただき、社会福祉協議会とあきる野市の中
でがんばっていきたいと思います。

生活福祉課長 ありがとうございます。それでは、ここからの議事進行は、下村委員長にお願
いします。

(6) 報告事項

①地域保健福祉計画策定・推進委員会について

委員長 それでは、報告事項に入ります。はじめに①地域保健福祉計画策定・推進委員会
についてです。事務局から説明をお願いします。

事務局 資料 1 を基に説明します。地域保健福祉計画はあきる野市総合計画を基に、市
の保健および福祉を総合的に推進する施策の指針として策定されるもので、社
会福祉法第 107 条の規定に基づく市町村地域福祉計画と位置づけています。計
画期間は 5 年間で、現計画が令和元年度で終了することから、次期計画を策定
するため、地域保健福祉計画策定・推進委員会（以下「計画策定・推進委員会」）
を設置しました。前回の策定時は、地域保健福祉計画市民検討委員会という名称
で、策定が終了と同時に委員会も終了というかたちでした。計画実施の評価は、
毎年度、担当課で自己評価を取りまとめて、ホームページで公開してしました
が、庁内で検討した結果、やはり計画の進捗状況の点検や、評価等を行う体制を
整備する必要があるということで、今回からは任期を 2 年間にさせていただき、
2 年目を推進に関する委員会といたします。また、地域保健福祉計画は、市の福
祉関係の個別計画と整合を図る必要があるため、健康福祉部、子ども家庭部の部
課長および係長で組織する、あきる野市地域保健福祉計画策定推進プロジェク
トチームを庁内で設置しました。こちらで検討した意見を基に事務局案を作成
して、計画策定・推進委員会に提出させていただくという流れで進めていきま
す。さらに、設置要綱に新しく、第 2 条所掌事項の (4) 社会福祉法人が計画す
る社会福祉法第 55 条の 2 第 4 項第 2 号に規定する地域公益事業に関することを
追加しました。こちらは、社会福祉法の改正により社会福祉充実残額を有する社
会福祉法人は社会福祉充実計画を策定し、社会福祉事業または地域公益事業等
にその資金を再投下することが求められることになり、その場合、地域公益事業
の内容や事業区域における需要等について、住民その他の関係者から意見を聴
取するために、中立公正かつ円滑な意見聴取が行える地域協議会の体制整備を
する必要があるとされています。市としては本計画策定・推進委員会が国の想定

している地域協議会と概ね同一であることから、計画策定・推進委員会の所掌事項として、新たに取り扱うことにしました。この案件についてもご意見を伺うことがありますのでご承知ください。説明は以上です。

- 委員長 ご質問、ご意見はありますか。
- 委員 昨年度の決算が終わり、理事会が開催されているタイミングだと思いますが、あきる野市で、社会福祉法第 55 条の 2 第 4 項社会福祉法人の充実残額がある社会福祉法人はありますか。
- 事務局 昨年度までは、特にありませんでした。
- 委員 今年度の見込みはいかがですか。
- 事務局 今のところ、あるというお話は聞いていません。
- 委員 スケジュールについて、回数、日にちが書いてありますが、これらは全て決定しているのでしょうか。
- 事務局 あくまでも目安で、会議の進捗状況などによって、多少前後することもあると思います。その際は日程が決まり次第、ご連絡させていただきます。今年度は、5 回程度は実施する予定です。
- 委員 決まり次第、早めに連絡をお願いします。

②アンケート調査について

- 委員長 次に②アンケート調査について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 資料 2 を基に説明します。現計画の評価、現計画策定時のアンケート調査との比較、および市民の地域福祉に関する意識や意欲、ニーズ等を把握することを目的に、20 歳以上の市民 2,000 人を無作為抽出し、5 月 30 日～6 月 12 日まで、アンケート調査を実施しています。
- コモン アンケートの調査項目について説明します。まず、前回調査と比較ができることを根底に置いて設計し、それに新たな項目を加えて 11 ページの構成としています。問 1～6 は回答者の基本属性で問 6 の暮らしやすさについては新しい項目です。問 7 はご近所との関係について、問 8～11 は地域における交流、活動について、問 12～14 はボランティア活動について、問 15～16 は災害時の対応等について、問 17 は新しい項目で、回答者ご自身が考える地域の課題を自由に記載していただきます。問 18～21 は保健福祉施策について、問 21 は新しい項目で、現計画の施策の柱①から⑮についての 4 段階評価となっています。問 22 は今後充実すべき保健福祉施策となっています。問 22 の選択肢 16 以降は今回の計画策定に求められている視点を新たに加えています。最後に市へのご意見等の自由記載としています。回収率をアップさせるために、文字を大きくして回答者の負担を軽減し、さらにお礼状のかたちで督促内容のはがきを送付する方法をとります。回収〆切は 6 月 12 日、その後入力、集計をして、7 月の下旬に開催予定の計画策定・推進委員会でご報告したいと考えています。説明は以上です。
- 委員長 ご質問、ご意見はありますか。

- 委員 1点目は、今回のアンケート調査において、目標としている回収率はあるのでしょうか。前回の回収率 39.4%は、あきる野市の割に低いという感覚があります。お礼状のかたちで督促はがきを出すということですが、他にも何か工夫ができませんでしょうか。2点目は、前回の地域保健福祉計画の資料編にある調査の結果は、単純集計のみですが、男女別、年代別、地域別などのクロス集計が必要だと思います。是非分析の際に、お願いしたいと思います。
- 事務局 1点目の回収率については、50%を目標にしています。直近で行われた、子ども・子育てのアンケート調査は50%の回収率を得ています。また、昨日の5月30日に調査を開始して、本日窓口に通戻ってきましたので、期待したいと思います。2点目の分析について、あきる野市は山間部と秋川駅近くでは色々なところで地域差があります。加えて男女別、年代別などもクロス集計をしていきたいと考えています。他にもご意見やご要望があれば事務局にお願いします。
- 委員 自由記述欄はどのように分析する予定でしょうか。
- コモン 入力してテキスト化し、内容で分類・整理をします。それを基本属性で傾向がわかるようなかたちにしたいと考えています。
- 委員 分類は統計解析ソフトで行うのですか。
- コモン テキストマイニングを使う予定はありません。質的に細かく分類してみたいと考えています。
- 委員長 アンケートは2,000人に配付とのことですが、エリアに比例して配付しているのでしょうか。
- 事務局 対象者は無作為で抽出しています。
- 委員長 無作為というのは、もともと人口の多いところは多く、少ないところは少ないということなのか、全部均等なのか、どちらなのでしょう。
- コモン 個人情報の関係で対象者の抽出は市にお願いしていますが、基本的に単純無作為で抽出するということは、人口を圧縮するかたちで抽出するので、地域のばらつきはそのままの状態です。したがって、人口の多い地域のサンプル数は多く、少ない地域のサンプル数は少なくなるということです。集計時に検証してお示ししたいと思います。

③現計画の実施状況について

ア 現計画の実施状況、修正および新たな事業の実施について

- 委員長 次に③現計画の実施状況について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 資料3を基に説明します。資料3では現計画の実施状況について、各担当課が平成29年度の取組みと自己評価をしています。今後はこの自己評価を基に、「今後の方向性」「新たな取組みとして必要と考える事項」を各担当課に依頼していきます。この検討作業を行うにあたっては、現在の課題や時代の変化等について考慮する必要があると考えています。さらに平成29年12月に厚労省の子ども家庭局長、社会・援護局長、老健局長の3局長連名で「地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進について」という通知があり、市町村の地域福祉計画策定ガイドラインが示され、計画に盛り込むべき事項が明記されました。こちらのガイ

ドラインの内容も踏まえて、今後プロジェクトチームで意見をまとめ、次回の計画策定・推進委員会に事務局案としてお示しする予定です。説明は以上です。

委員長

ご質問、ご意見はありますか。

委員

自己評価について、第一印象はCが非常に多いと感じました。私は事業所の管理職なので、職員がもしこの自己評価をつけてくると、困ってしまうというのが本音です。かなりの事業にCがついていますが謙遜する必要はないと思いますので、是非、積極的な評価を入れていただくと良いと思います。次に今後の方向性や新たな取組みを埋めていく作業と併せて、継続なのか、新しい取組みなのか、重点をおくべきものには印をつけて優先順位を表すなど、見せ方も工夫していただきたいと思います。

委員

私も同じ考えです。例えば、①健康寿命を延ばす取組みの推進について、あきる野市の健康寿命は非常に高く、健康づくり推進委員は活発に活動していると思います。特定健診の受診率を上げるために色々工夫もしています。やはりCというのは低すぎるかなと思います。5年間の取組み状況をきちんと評価していただき、その上でガイドラインに照らし合わせて、あきる野市はどこを推進したいのかを、資料で分かりやすくしていただくと助かります。

副委員長

私も同じ意見です。この資料だと、こういう取組みをしたと書いてはありますが、取組みの結果、結果に基づく今後の方向性などが全くみえないと思います。そのあたりはどのように考えているのでしょうか。

事務局

この自己評価は、平成27年度からホームページで毎年同じようなかたちで、公開しているのですが、A、B、C、D、Eの評価ランクは途中で変えられない状況にあります。しかし、各課で「一生懸命取り組んでいるから、本当はAと書きたい」という意見は、毎回必ず出ています。改めてこの委員会で、来年度以降の評価の方法について、ご意見をいただいきたいと思っています。また、この資料は自己評価だけで終わってしまっているのですが、その結果をどう捉え、今後どのように取組みでいきたいかを、これからグリーンの部分、「今後の方向性」「新たな取組みとして必要と考える事項」を各課に調査して、意見を交わしながらつくり上げていきたいと考えています。

委員長

評価のかたちとして、KPI (Key Performance Indicator) というものがあります。主要になる数値を決めて、その推移から現況や進捗を把握したり、問題解決や取組みの改善点を検討することができる評価指標です。例えば、高齢者に対して一生懸命やりました。だから評価はAという自己評価になっていますが、KPIのように根拠となるような中身があると、市民にもわかりやすいと思います。

委員

健康づくり市民推進委員会には、いきいき事業を一生懸命やっていただいています。また、めざせ健康あきる野21推進会議には、ウォーキングや食のことなど、色々やっていただいているのに、評価Cなのです。何をもちてCなのかがわかるとよいと思います。

事務局

ご意見、ありがとうございます。

(7) 協議事項

①地域保健福祉計画策定に当たって

ア 計画策定のスケジュール（案）について

委員長 次に協議事項に入ります。①地域保健福祉計画策定に当たって、ア 計画策定のスケジュール（案）について、事務局から説明をお願いします。

事務局 資料4を基に説明します。今後、計画の策定まで2か月に1回のペースで、庁内のプロジェクトチーム会議で検討をした後、計画策定・推進委員会を開催するという流れで進めていきます。1月の中旬にパブリックコメントを実施し、市長報告を経て、3月に印刷・製本・配付の予定です。また、子ども子育て支援事業計画も現在策定中なので、こちらともタイミングを合わせていきたいと考えています。説明は以上です。

委員長 ご質問、ご意見はありますか。

委員 アンケートの集計結果が出て、それに基づく事務局案について意見交換をするのが、次の計画策定・推進委員会だと思いますが、パブリックコメントを実施するならば、その前に中間まとめ案が必要ですし、それをこのタイミングでつくるのか、最終的に製本されるのはいつなのかというスケジュールの資料はないのでしょうか。

事務局 現段階で、そこまでのスケジュールをまだ準備できていません。次回、7月の計画策定・推進委員会では、アンケート集計の結果と事務局案の提示というところから進めていこうと考えています。

委員長 アンケートの結果が7月にまとまって、パブリックコメントを1月に出すというスケジュールということは、約半年の間に計画策定・推進委員会で討議しなければなりません。アンケートの集計結果を、早めに委員に送っていただくことは可能でしょうか。

事務局 資料は事前配付したいと考えていますが、どこまでのものをお配りできるかは、コモン計画研究所と相談して進めていきます。

イ 計画の構成（案）について

委員長 次に、イ 計画の構成（案）について、事務局から説明をお願いします。

事務局 資料5、6を基に説明します。第1章は計画の位置づけと計画期間、第2章はあきる野市の地域福祉を取り巻く現状と課題、第3章は基本理念と計画の体系図、第4章は基本目標、第5章は計画の推進体制及び進行管理、第6章は資料としていきたいと考えています。基本理念は、市の総合計画を基とする“笑顔あふれる 安心して暮らせる 保健福祉都市をめざして”を継承し、その実現に向けて行政力、地域力、地域経済力を駆使して、自助、互助・共助、公助の考え方を基本とした、市民と協働のまちづくりを推進するために、“環境づくり”“仕組みづくり”“体制づくり”“担い手づくり”の4つの基本目標を考えています。体系図は、現計画の構成（基本目標→施策→施策の方向性→関連計画）を継承し、ガイドラインの盛り込むべき事項を踏まえて、新たに必要な取組みがあるのか、どの

ように取り組むべきなのか、様々な分野と横断的に支援を行うという視点で担当課と検討し、次回の計画策定・推進委員会で事務局案としてお示しする予定です。説明は以上です。

委員長 ご質問、ご意見はありますか。

副委員長 資料5の3ページの“自助、互助・共助、公助”について、地域保健福祉計画（平成27年3月）の2ページで“互助”は地域での助け合いと書いてありますが、防災の関係でいうと地域での助け合いは“共助”なのです。防災に携わっている人は、混乱すると思います。

事務局 調べて検討したいと思います。

委員 私は、今まで高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画や中長期計画、ビジョンづくりにかかわらせていただきました。それらの経験から、資料5あきる野市地域保健福祉計画の構成（案）をみると、現状を把握し、アンケート結果を基に課題を抽出して、課題に対応していくという、オーソドックスな手法で、それはそれで大事なことだと思いますが、あきる野市の将来の理想像、未来図をエッセンスとして入れると良いと思います。例えば、2024年、2035年、2040年などの区切りの年に、どんな町がつけられているかというフューチャーデザインという考え方で、もう一步踏み込んだ部分があったらと考えました。

委員 「今後の方向性」「新たな取り組みとして必要と考える事項」はかなり横断的な対策を検討する必要があると思います。この部分にアンケート調査結果を活かせるところは少ないと思うので、ある程度市の方で整理が必要だと思います。新たな制度がないと難しいところなどもあり、議論が難しいと感じるのですが、これからどのように整理していくのでしょうか。

事務局 日々、相談業務等をしていると、問題解決するためには、縦割りの分野のみでは難しく、横のつながりの大切さをいつも感じています。この次期計画に盛り込むべき、「今後の方向性」「新たな取り組みとして必要と考える事項」は、とても難しい課題ではありますが、各課できちんと読み込んで、今後どのようなものが必要なのか、横断的な視点も含めて考えていただきたいと思っています。あきる野市の将来像やビジョンの部分については、皆様の中にイメージ等がありましたら、挙げていただき、一緒につくっていくことができればよいと考えています。まずは、検討していきたいと思っています。

委員長 確実に人口は減少して年齢は高齢にシフトしていきます。65歳以上の高齢者は2050年に約3,000万人以上と予想されています。高齢者をどのように活かすのか、また若い人たちがどのように地域にかかわれるのか、そういう感覚で町づくりというものをイメージしておく必要があると思います。

事務局 先ほど、支える側にまわる高齢者というお話をいただきました。皆様のお力を借りて高齢者を活かす方法を具体的に示せるとよいと思います。

(8) その他

委員長 その他に移ります。何かありますか。

- 委員 3点、確認させていただきたいと思います。1点目、本日の計画策定・推進委員会の議事録や協議概要は作成して、委員にいただけるのでしょうか。また、協議の経過などは、ホームページ等で公表される予定はあるのでしょうか。2点目、私は事業者連絡協議会の代表として参加しているのですが、会員事業所から傍聴の希望があった場合、可能なのでしょうか。3点目は、いただいた配付資料などは、他の会議などで活用をさせていただいてもよいのでしょうか。
- 事務局 まず、1点目と3点目について、本日の議事録をコモン計画研究所に作成していただき、議事要旨と本日の資料をホームページに公開します。2点目の傍聴については、1週間前にホームページで、計画策定・推進委員会の開催を告知しています。当日の開始10分前までに来ていただければ、傍聴することができます。本日は、傍聴希望者はいませんでした。
- 委員 先ほど、他の委員が高齢者の幸せについて研究されているとおっしゃっていましたが、福祉は幸せを意味することばなので、それだけで何か気持ちが楽になります。自己評価について、私が直接関係している分野の事業も出ていますが、ニーズが減って現状維持がやっとの状況にあります。なんとかCランクを保つように事業に参加したいと思っています。
- 委員 健康づくり推進委員会は自治会長の推薦を受け、市と協力して農作業のクラブ、カラオケのクラブ、体操会、グランドゴルフの4つの活動をしています。今後高齢者が横のつながりをもって、助け合って、地域ぐるみで活動することによって、健康づくりにつなげていければと思っています。また、年を取ると、閉じこもらないで、近くにいつも出かける用事や場所があることが重要だと思います。そういう場所をつくることも私たちにとってすごく大切なことだと感じています。
- 委員 計画策定・推進委員会への参画が決まり、資料が送られてきて、その中にアンケート調査が入っていました。すると、今日、偶然にも私の家内宛てにアンケート調査が届いたのです。家内は、「全部回答するのは大変だけど、丸付けるだけだから平気だわ」なんて言っていましたが、実際に質問数も多く、かなりの分量で回答は大変だと思いました。また、今日の資料3も表の組み方が同じだと、このように分量が多くなるので、もう少しコンパクトにならないかと思いました。さらに、計画書も市民が読むには分厚いと感じました。色々ともう少し整理して、まとめて簡単にすることが大切なのではないかと思います。委員として、計画策定・推進委員会に何かのかたちで参加したいという思いで、私自身の今の感想を述べさせていただきました。
- 事務局 たくさんのご意見をいただき、計画策定・推進委員会が本当に大切な機会であること、そして、あきる野市の地域の力を改めて感じています。また、あきる野市は医療と福祉の連携が非常に上手くいっているので、市民にとっては大変心強いことだと思っています。今後の取組みとしては、元気な高齢者が支える側になる、高齢者の就労への取組み、障がいをもった方々のユニバーサルスポーツの取組み、防災への取組みなど、どんどん広がっていきます。市民の代表のお二人には、所属団体とは違う市民の立場として、ご意見をよろしくお願いします。

一 事務連絡（次回の開催予定、等）

委員長 それでは、議事を終了させていただきます。司会をお返しします。

(9) 閉会

生活福祉課長 皆様、長時間にわたり活発かつ熱いご意見をいただき、ありがとうございました。また、委員長、スムーズな議事進行をありがとうございました。委員会後にさらにご意見等ありましたら、生活福祉課にご連絡いただければと思います。本日いただきましたご意見を今後、他の所管課にどのように伝えていくか、身が引き締まる思いです。それでは最後になりますが、健康福祉部長から閉会のご挨拶をさせていただきます。

健康福祉部長 活発なご討議ありがとうございました。いただきました様々ご意見、ご要望を次期計画に反映させていきたいと思えます。次回の計画策定・推進委員会は、アンケート調査の結果を庁内のプロジェクトチームの検討を経て、事務局案としてまとめたものをご協議いただく予定です。それでは以上をもちまして、第1回あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会を閉会します。